

# すくすく～体育学習発表会に向けて～

## ◎久我山学級の発表形式

久我山学級の児童が日頃の学習の成果を発表できるように、①走・跳の運動、運動遊び②表現運動、表現リズム遊び③体づくり運動、運動遊びのすべての領域の運動・運動遊びについて、児童が自分で選択する場面を設けて、自信をもって参加できるような形式にしました。

## ◎体育学習発表会練習期間までの学習と当日の発表について

### ①走の運動・運動遊び

「コースに沿って力いっぱい走る」「障害物を乗り越えたり、走り越えたりする」ことをねらいとして、曲線やジグザグなどの場を走る学習や障害物走、ミニハードル、ハードルの学習に取り組みました。

曲線やジグザグの場を走る運動では、走の基本的な運動の楽しさを感じ、基本的な動きを身に付けることやコースを上手に速く走るための工夫を考えて体を動かしました。

障害物走やミニハードル、ハードルの学習では、ハードルの間隔をバラバラにしているいろいろなリズムで走り越えたり、一定の間隔を一定のリズムで走り越えたりするを行いました。

### ②表現運動・表現リズム遊び

ブレイルームで体育を行うときに取り組んでいる表現運動の中で、児童に曲の好き・苦手を聞きながら繰り返し取り組んできました。当日の発表に向けて児童と話し合いながら、全員が取り組みそうなジャンルの異なる3曲に絞りました。当日はそこから1曲を選んで発表します。

### ③体づくり運動・運動遊び

今年度は、体育館でボール、フラフープ、縄跳びの道具を使った運動に取り組みました。3つの運動から道具を1つ選び、体育の学習で発見した技や自信をもって取り組める技、友達と協力する技に取り組みます。



## ◎交流及び共同学習について

交流及び共同学習は、社会性を養ったり、豊かな人間性を育んだりするために大きな意義を有するものです。本校では、昨年度までも体育的な行事を交流及び共同学習の充実を図るための大切な機会としており、今年度も取り組んでいきます。

今年度は、特別支援学級の連合移動教室に向けて体育の表現運動で取り組んできた「タタロチカ」のダンスで交流します。久我山学級の4年生以上がオリジナルの掛け声や一部をオリジナルの振り付けにして「タカニチカ」を完成させました。また、通常の学級の友達と一緒に踊れるように、お手本動画を撮ることや全校朝会で呼びかける原稿づくりや発表の練習、ポスターを作って準備をしています。



練習期間の様子や交流及び共同学習についての全校アナウンスについては、次回号でお伝えします。